

一般質問通告表

平成23年第2回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	20分	山内 末子(新政クラブ)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 鳩山前総理の「在沖海兵隊の抑止力は方便」発言、日米合意の根拠が崩壊された今、知事が見直しに向けどれだけ本気に、強固に政府に求めていくのかその姿勢を県民は注視している。決意とその戦略を伺う。
- (2) アメリカ議会での軍事費削減論、米軍の沖縄・アジア撤退論、海兵隊不要論等、動きが活発になっている。また、アメリカ世論も半数が軍縮の流れ、沖縄から議会、世論に訴える行動が必要だと考えるが、知事の所見を伺う。
- (3) 知事公室長の3月訪米の目的、訪問先等具体的内容を伺う。
- (4) 東村高江区のヘリパッド建設工事再開について
 - ア 係争中でもあり、裁判所から話し合いの必要性を提示されている中での工事再開は、まさに県民無視の国の弾圧である。基地負担軽減の観点からも、住宅地域に基地が近づいていることは、県の求めていることと相反している。辺野古も高江も一体ではないのか、見解を求める。
 - イ 工事予定地周辺の貴重種の移植状況はどうなっているか、経過状況の詳しい説明を求める。
- (5) 沖縄自動車道再有料化について、国が無料化を拡大する中で沖縄県だけ有料化を希望したという。その真意を問う。
 - ア 新たな割引料金の導入提起の経緯について
 - イ 実験結果について
 - (ア) 社会実験期間中の平均利用量、事故件数について
 - (イ) 期間中の経済効果。経済的損失、どういう分野から反対の声が大きかったのか。
 - ウ 決定後の県民からの反応について
- (6) 騒音被害実態調査について
調査地域が示されているが、選定の根拠を示せ。

2 福祉・医療行政について

- (1) 沖縄の子供たちが直面している貧困から派生する児童虐待、少年非行等社会的養護を必要とする子供たちの諸問題を解決していくために振興計画とは独立して「沖縄子供振興計画(仮称)」を早期に策定する必要があると考えるが、見解を伺う。
- (2) 児童虐待、いじめなどによる心身に傷ついた児童生徒の対処策について
 - ア 本県の「情緒障害児短期治療施設」や小児精神科医を中心とした治療施設の設置状況を伺う。
 - イ 状況に応じた治療プログラムや支援体制の確立などは実施されてるか。
- (3) 夜間保育施設(24時間保育)と夜間保育サポート制度の実態と計画を伺う。
- (4) ファミリーサポート制度の現状と課題について
- (5) 母子生活支援施設の実態と今後の支援策について伺う。
- (6) ひとり親世帯の生活実態調査、子供の貧困の実態調査の取り組み状況とその支援策を伺う。
- (7) ITを活用したひとり親家庭等の在宅就労支援事業について
 - ア 事業の実施状況はどうか。

- イ 自立へとつながる就労事業となり得るか、課題と対応策を伺う。
- (8) AIDS感染者の5年間の推移と対策を伺う。
- (9) 若年齢出産の5年間の推移と対策を伺う。
- 3 安全対策について
 - (1) 歓楽街の環境浄化と暴力団対策について
 - ア 迷惑防止条例制定後の現状と課題を伺う。
 - イ 関連した人々の支援体制の構築について伺う。
- 4 産業振興について
 - (1) バイオ関連事業の現状と課題、今後の取り組みについて
 - (2) 島嶼地域循環資源活用促進事業の主な内容を伺う。
- 5 観光産業について
 - (1) プロ野球キャンプ応援巡回バス運行の成果と課題について
 - (2) 韓国との交流、応援ツアー等の誘致状況、成果、課題を伺う。
 - (3) 医療ツーリズム促進事業の目的、内容を具体的に伺う。
 - (4) カジノつき統合型リゾートの導入について、新沖振法に盛り込む考えとあるが真意を問う。
- 6 消防広域化について
 - (1) 県消防広域化一元化に向け、38市町村が参加。浦添市、うるま市、宮古島市の不参加が決定した。一元化でないことで、県全体の体制にどう影響するか。

一般質問通告表

平成23年第2回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	20分	平良 昭一(改革の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 次期振興計画について</p> <p>ア 沖縄振興法の原点「償いの心」に対する知事の見解は。</p> <p>イ 県民所得改善の戦略的プランはいかなるものか。</p> <p>ウ 沖縄の優位性を生かした自立型経済の構築に向けた戦略について伺う。</p> <p>(2) 日米共同発表見直し及び普天間飛行場の県外移設について</p> <p>ア 前首相の「抑止力は方便」発言に対する知事の見解。</p> <p>イ 今後どのような方策で解決を求めて行くのか。</p> <p>ウ 訪米交渉予定はあるのか。</p> <p>(3) 高速道路無料化社会実験について</p> <p>ア 利用台数の状況はどうなっているか。</p> <p>イ 一般道路沿線でのサービス事業者の経営状況はどうなっているか。</p> <p>ウ 6月まで延長その後見直しを県は要望ということだが、その根拠について伺いたい。</p> <p>(4) 軍用地売買について</p> <p>ア 民法上の規定のままでの取引が続けば、跡地利用の弊害になるのは必至。特別法制定での対応が必要と考えるがいかがか。</p> <p>2 土木建築行政について</p> <p>(1) 地域維持型の契約方式の導入について</p> <p>ア 廃材焼却処理(一般廃棄物として受け入れできない)に環境税を導入できないか。</p> <p>イ 下請業者の県内最優先活用について(特記事項に表記できないか)</p> <p>(2) 総合評価システムの弊害について</p> <p>(3) ボンド(契約履行保証)制について</p> <p>ア 県や公的機関が保証支援の制度構築はできないか。</p> <p>イ 他都道府県米軍基地所在地区との提携について</p> <p>(4) 技能・技術の承継の確保対策について</p> <p>(5) 盲人用歩道の設置状況について</p> <p>ア 県内の敷設状況について</p> <p>3 教育行政について</p> <p>(1) 道徳の必修化について</p> <p>(2) 廃校、休校になった公立校の活用について</p> <p>ア 学校として使われなくなってから3年以上たった校数は。</p> <p>イ 有効活用されていない校数は。</p> <p>ウ 耐震基準を満たしている学校数は。</p> <p>エ 有効活用されている事例は。</p> <p>(3) 教員住宅の有効利用について</p>			

- (4) 高校授業料無料化、全額支給後の成果は、生徒がそのことを知らず、ありがたみが見えない。生徒向けの無料化の打開策を考えるべきであると思うがいかがか。
- (5) 教員採用年齢枠基準の根拠について
- 4 医療行政について
 - (1) 北部病院産婦人科について
 - (2) ドクターヘリMESHについて
 - (3) インフルエンザ対策について
- 5 地上デジタル放送について
 - (1) 県内でどの程度の難視世帯があるのか。
 - (2) 他府県との比較はどうなっているか。
 - (3) 難視地区対策計画について何う。
- 6 生活衛生同業組合連合会と県とのかかわりについて
- 7 財団法人沖縄県水源基金について
 - (1) 当財団法人の意義について何う。
- 8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第2回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	20分	玉城 満(改革の会)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 文化行政について

- ア 文化観光スポーツ部創設に伴い、新たなる文化行政への意気込みと具体的な政策を伺う。
- イ ユネスコ認定を受けた組踊への今後の対応について伺う。
- ウ 県立郷土劇場の進捗について伺う。

(2) 基地問題について

- ア 去る2月16日の報道でゲーツ国防長官の「普天間代替施設の問題が解決しなければ米軍は沖縄を離れず、土地も沖縄に返還することもない」、さらに5月の2プラス2で辺野古移設決定を強要する発言をしたとの報道があるが、知事の対応を伺う。

(3) 対アジア政策について

- ア 北京事務所の開設はどうなっているのか伺う。
- イ 沖縄 北京の空路定期便の就航はどうなっているのか伺う。
- ウ 尖閣諸島問題が対アジア政策の足かせになっているのか伺う。

2 観光商工関係について

(1) コンテンツファンドの進捗状況について伺う。

(2) 文化観光スポーツ部の創設に伴うフィルムオフィスの位置づけを伺う。

(3) 県土における開発地域の商工的広域調整が必要と考えるが、県の考えを伺う。

(4) 県製造業育成のためにも物流コストと電気料金、工業用水料金等の低減が必要と考えるが、県の対応を伺う。

(5) 起業増と雇用増のためにもマイクロファンドが注目されているが、県の認識を伺う。

(6) 昨年、沖縄県ライブハウス協会が結成されたが、県の対応を伺う。

3 スポーツ振興関係について

(1) 日本アームレスリング連盟沖縄支部に対する県の対応について伺う。

4 行政改革について

(1) 総務部行政改革推進課で実施している「県民視点による事業棚卸し」とあるが、知事は真にリーダーシップを発揮し、本質的な問題を抽出し、枝葉の細かい事業の見直しではなく大胆な見直しはできないのか伺う。

(2) 具体的に行革にかかる経費の積算と定量的な効果を示して、その費用対効果はどうなっているのか伺う。

5 環境政策関係について

(1) サンゴは沖縄の宝であることは言うまでもないが、昨今の調査でサンゴのCO2の吸収個体化は森林のそれよりまさるといある研究機関の報告があるが、県の見解を伺う。

(2) サンゴの研究、植えつけ等関連事業について県の対応を伺う。

6 土木建築関係について

(1) 建築基準法第12条の改正が平成20年4月1日に施行され、3年の猶予期間が今年度末で終わり、建物の外壁診断の義務化が本格スタートするが、県の対応と認識を伺う。

(2) オフセット、いわゆる自然再生事業が国際的にも本格化する中で県の対応を伺う。
7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第2回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	20分	當間 盛夫(改革の会)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 最終年度となる沖縄振興予算と一括交付金の評価、沖縄政策協議会での新たな振興計画の進捗状況と対応について伺う。
- (2) 「総合事務局」の役割と今後の移譲容認に対する対応と課題を伺う。
- (3) 事業棚卸しの費用対効果と県議会の果たす役割を伺う。
- (4) 「国際観光都市おきなわ」の形成への取り組みと課題を伺う。
- (5) 新成長戦略「沖縄ウェルネス産業」の具体的取り組みと課題を伺う。
- (6) 平成10年に建設した中国との友好シンボル「福建・沖縄友好会館」の運営状況と展望を伺う。
- (7) 「県民の翼」JTAへの支援とJAL持ち株の県内企業譲渡について伺う。
- (8) 鉄軌道等の導入可能性検討基礎調査等の県との連携と取り組みを伺う。
- (9) 国境領土問題とユニバーサルサービスとしての離島振興は重要であるが認識を伺う。
- (10) 環境や資源問題からも沖縄版グリーンニューディールの推進は重要と考えるが、取り組み状況を伺う。
- (11) 農連市場地区の市街地再開発事業の進捗状況を伺う。
- (12) 「万国津梁」人材育成事業の具体的取り組みを伺う。
- (13) 旧軍飛行場用地問題の解決促進について伺う。

2 基地問題について

- (1) 普天間飛行場の県外移設、多発する事件・事故に対して日米地位協定見直しについて取り組みと課題を伺う。
- (2) 強制収用された軍用地の固定資産税、相続税の軽減及び国の買い上げについて見解を伺う。
- (3) 米軍基地の物品購入や建設工事の状況と県内企業発注への取り組みを伺う。
- (4) ボンド支援制度創設の取り組み状況を伺う。

3 雇用対策について

- (1) 非正規雇用の正規化の対策と課題を伺う。
- (2) 国の雇用対策事業と雇用労働行政の各市町村との連携強化について伺う。
- (3) 雇用労働行政の充実と国が行っている事務の県との連携強化について伺う。

4 産業振興について

- (1) 本県経済・産業の発展につなげていく海洋資源の発掘・活用の方策と産業創出の可能性について伺う。
- (2) 農林水産業の6次産業化への取り組み、耕作放棄地の対策とTPPによる県内農業への影響について伺う。

5 公益法人の検査と指導のあり方について伺う。

6 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第2回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	20分	金城 勉(公明県民会議)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 観光商工部関連について</p> <p>(1) 全日空と香港のファーストイースタン・インベストメントグループが共同出資する格安航空会社(LCC)が本年秋から関西空港を拠点に運航開始を目指しているとの報道(2月14日)がある。那覇空港への誘致運動はどうか。</p> <p>(2) 全国エイサー大会について、昨年の実績と本年の計画はどうか。</p> <p>(3) 沖縄市山里再開発事業への県支援について、県の方針はどうか。</p> <p>(4) 泡瀬ゴルフ場跡地の再開発事業への県関与(調整)について伺う。</p> <p>2 土建部関連について</p> <p>(1) 東部海浜開発事業について、再開に向けた今後の手順・手続はどうか。</p> <p>(2) 中城湾港の物流拠点形成のための定期船就航実験事業について、今年度の取り組みと新年度事業計画について伺う。</p> <p>(3) IT津梁パークへの企業誘致強化策について、新年度の方針、計画を伺う。</p> <p>3 福祉保健部関連について</p> <p>(1) 待機児童問題の抜本的解消について伺う。</p> <p>(2) 幼保一体化について伺う。</p> <p>(3) 子ども手当について、地方負担のあり方について県の考え方を伺う。</p> <p>4 教育委員会関連について</p> <p>(1) 現在行われている小学校での英語教育の成果を伺う。</p> <p>(2) 教師の負担軽減策について伺う。</p> <p>(3) 教員採用年齢の引き上げについて伺う。</p> <p>5 文化環境部関連について</p> <p>(1) 「エコアクション21」導入企業について、公共工事入札格付の際、同制度登録企業に対し加点の要望があるが、県の考え方を伺う。</p> <p>(2) 空手道会館建設に向けて、新年度の事業予定の内容はどうか、また、伝統空手とスポーツ空手との整理の仕方をどう考えているか。</p> <p>(3) 県立郷土劇場再建に向けて、新年度の事業予定の内容はどうか。</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成23年第2回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	20分	當山 眞市(公明県民会議)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 3回目の訪米時期と主要な内容と要請先について伺います。
- (2) 普天間移設に関するアクションプログラムに伴う行動になるか。
- (3) 菅総理は6月を目途に訪米するとなっているが、普天間移設に関する協議はなく日米合意の確認になるというが、知事は訪米でオバマ大統領に普天間や負担過重な沖縄の実情を直訴する日程をぜひ入れるべきと思うがどうか。

2 基地問題について

- (1) 普天間飛行場を使用している米海兵隊が戦後間もない時期に、本土から沖縄に移駐してきた経緯と、本県における海兵隊撤去の戦略について、県の考えを伺いたい。
- (2) 米側が普天間移設とリンクだとする海兵隊のグアム移転が、現地のインフラ整備のおくれから、計画の14年に移設目途が立たず、3年から5年後になるとのことだが、県はリンク論と普天間移設をどのように乖離させていかれるか伺います。
- (3) 次年度事業で計画される総合的安全保障研究推進事業では、普天間移設実現のため、対米国、対日本政府への効果的なアクションを起こすための研究となっているが、人選案は知事の中にはあるのか伺います。
- (4) 嘉手納以南の先行返還について、防衛・外務大臣は一方的に米側の話を聞くだけで、積極的に進める姿勢が見えないが、県はどのように行動しているか。
- (5) ゲーツ米国防長官は1月14日の訪日の際に、昨年5月の日米合意にある施設区域の返還先行も一定範囲で努力する意思を持っていると明言しているが、県は一定範囲の内容を把握しているか伺います。
- (6) 嘉手納飛行場の騒音軽減について、北澤防衛相はグアム移転で米側と合意しており、間違いなく軽減できると県に伝えているが、1月13日にゲーツ国防長官はあくまでも普天間移設とリンクだと言っている。普天間とは別だと思うがリンクの根拠は何と思うか伺います。
- (7) 日米地位協定の改定について、岡田幹事長、菅総理ともに、みずからの政党がねじらせた普天間移設問題を進展させるまで、米側と協議しないとす。これもリンクする根拠のない話を盾に、協議拒否を明言しているが、県は今後どのように取り組むか伺います。
- (8) さきの鳩山発言について、知事を初め沖縄県民を愚弄した鳩山前総理に対し、怒りを込めた知事の抗議が必要だと思うがどうか。

3 建設行政について

- (1) 県内建設業者は、毎年大幅削減される国の公共工事予算のあおりを受け、経営基盤が根底から揺らいでいる。雇用の安定や県経済に及ぼす影響を考えると、県としても対策が必要と思うが、県の考えを伺います。
- (2) 県内建設業者約5000社の持続のためには、県発注工事の優先発注はもとより、米軍発注工事のポンド制の見直しを米国と協議を重ねること、国の出先機関を事務移譲し、県に移管して国発注工事を県が対応するしかないと思う。知事の考えとも合致していると思うが、行動に移す時期だと思うがどうか伺います。
- (3) 知事のマニフェストにある社会資本整備の中の西海岸道路の整備を、今後地元と調整を重ね、早急に施工すべきと思うが、いつ完工の予定か。

4 県の行財政について

- (1) これからの沖縄を担う多様な人材を育成し、アジアゲートウェイ構想の最重要項目とし

て、平成20年から実施してきたアジアと沖縄を初め、国内の参加青年が沖縄を舞台に科学者等の講義や沖縄の文化体験等を行い、将来を担う人材の育成、国際交流拠点としての沖縄の発展に資することを目的に開始した事業だが、次年度から休止する理由は何か。

- (2) 世界のウチナーンチュ大会は、世界各国で既に母県への思いと、前回にまさるイベントを楽しみに多くの方々が結集を呼びかけているようだが、県としての取り組みや県下市町村との連携による万全な体制はできているか伺います。
- (3) 4次にわたる沖縄振興策の成果を、県としては各分野でどのように評価し、次期計画の中にどのように生かしていかれるか伺います。

5 教育行政について

- (1) 2009年から開始した秋田県教育委員会との教員交流事業について、現状と成果について伺います。
- (2) 学力テスト、体力テストとも福井、秋田が3年連続トップを占め、知・徳・体のバランスがとれている結果が出ているが、本県の子供たちの体力テストの結果はどうか。また、体力向上に向け今後の県教委の取り組みについて伺います。
- (3) 公立小中学校で新年度から導入される英語教育について伺います。
 - ア 2010年に先行実施され、今年4月から完全導入される英語教育について、2カ年前まで53%の公立学校で導入に不安があるとアンケートで出ていたが、現状はどうか。
 - イ 小学校英語では、必修化は成績をつける教科とせず、コミュニケーション能力の育成を重視する方針だと言われるが、他の教科と同じ取り扱いはいつから行うか。
 - ウ 指導教員の研修や準備はできているか伺います。

6 観光行政について

- (1) 外国人観光客100万人目標達成のために必要なインフラ整備をどのように進めているか伺います。
 - ア 国際線ターミナルの整備はどうなっているか。
 - イ 那覇空港第二滑走路の進捗状況は、完成までの工程を示してください。
 - ウ 交通網の整備はどうか。本島、離島で。
- (2) 修学旅行客数の回復策をどのように取り組むか伺います。
 - ア 修学旅行の航空割引運賃(SE運賃)の引き下げについて、政府・国交省は県の要請に対し、今から勉強させてもらいたいと述べているが、実現の可能性はあるか。各航空会社の感触はどうか。

7 警察行政について

- (1) 本県における飲酒運転と飲酒運転絡みの交通事故が21年ワーストとなり、脱却することができなかったが、新警察本部長と県民一丸となって、次年度に向けワースト脱却の決意を新たにして取り組む必要があると思うが、村田本部長の決意を伺います。
- (2) 深夜徘徊補導少年対策について伺います。
- (3) 麻薬取り締まりの強化にもかかわらず、密輸入量の増加は深刻な問題であり、さらに徹底した対策が求められているが、現状と対応について伺います。

8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成23年第2回沖縄県議会(定例会)

03月01日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	20分	仲田 弘毅(自民党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 新沖縄振興計画について

- ア 国は、一括交付金制度の導入と、沖縄県に対して高率補助の配慮をしている反面、対象事業の自由度に制限があるとされているが、知事の見解を伺う。
- イ 知事はこれまでの沖縄振興計画並びに沖縄振興特別措置法にかわる新たな沖縄振興計画でどのような制度を具体的に要望していくか御所見を伺います。
- ウ 沖縄関連要求の実現は新沖縄振興計画に基づく新たな制度づくりが必要不可欠であることは言うまでもありません。知事の見解を伺いたい。

(2) 県経済の振興について

- ア 経済振興関連事業の中で、これから県を主導することが期待される「外国人観光客誘客強化事業」を始め、「沖縄国際航空物流ハブ活用推進事業」や「文化観光戦略推進事業」の概要説明と知事の決意のほどをお聞かせください。

2 環境問題について

- (1) 県内の産業廃棄物管理型最終処分場が何カ所、何社あるか。そして状況はどうなっているか伺う。
- (2) 沖縄市北部の管理型処分場は自主的に営業を停止し、改善作業を行っているとのことですが、県はどのように見守っていくのかお聞かせください。
- (3) 公共関与による産業廃棄物最終処分場の設置に向けた進捗状況について伺いたい。
- (4) 県内で最終処分が不可能ということであれば、県外での処分も真剣に取り組む必要があると思うが、当局の考え方を伺う。

3 農林水産業の振興について

(1) 農業基盤整備について

- ア 津堅島においては、地域住民、うるま市及び県が連携し、耕作放棄地対策事業が行われておりますが、進捗状況はどうなっているか伺う。
- イ 津堅島においては、農業者によるにんじん生産部会、いも生産部会などが組織され活動しておりますが、営農状況はどうか伺う。
- ウ アリモドキゾウムシ、イモゾウムシの根絶対策の進捗状況はどうか伺う。
- エ 津堅島においては、今後の農業生産の振興のため、水源施設、かんがい施設の整備は重要であると考えますが、県の取り組み状況について伺いたい。
- オ うるま市において、耕作放棄地等を活用して、作物を生産、加工販売に取り組みたいとの建設業者等からの声があるが、その可能性及び手続等について伺いたい。
- カ 宮城島の農道整備について、現在の取り組み状況について伺いたい。

(2) 水産振興について

- ア うるま市においては、モズク生産を中心とした水産業が盛んであり、漁港漁場の整備が重要であります。比嘉漁港の船揚げ場整備の要望があると聞いておりますが、県の取り組み状況について伺いたい。
- イ うるま市の桃原漁港につながる航路に土砂が堆積し、水深が浅くなり、航行に支障があると指摘があるが、その対策について伺いたい。

(3) 高病原性鳥インフルエンザについて

- ア 国内の高病原性鳥インフルエンザの発生状況について伺う。
 - イ 県内の養鶏農場での対策はどうなっているか。また、これまで県が実施した高病原性鳥インフルエンザ侵入防止対策はどうか伺う。
 - ウ 今後の侵入防止対策について説明をお願いします。
- (4) TPPに参加した場合の影響と対応について
- ア TPPに参加した場合の本県の農林水産業への影響額について伺う。
 - イ 政府のTPP参加に向けた検討状況はどうか伺う。
 - ウ TPPに対する県の見解と対応はどうか伺いたい。
- 4 土木行政(港湾)について
- (1) 中城湾港新港地区の整備状況と、これからの具体的な取り組みについて伺いたい。
 - (2) 港湾機能と制度設計等について、県の基本的な考え方を伺う。
 - (3) 定期船就航への取り組みが必要と考えているが、見解をお聞かせください。
 - (4) 流通加工港湾として発展していくためには、港湾施設の使用料の低減が必要不可欠である。見解を伺います。
 - (5) 平成15年にリサイクルポートとして指定を受けている中城湾港の現状と課題はどうか伺う。
 - (6) 自由貿易地域への支援策として、減額制度、減額譲渡を導入実施してきているが、企業誘致の現状と、これからの展望について伺いたい。
- 5 日本・サウジアラビア沖縄共同プロジェクトについて
- (1) 事業内容の概要についての説明をお願いします。
 - (2) 県やうるま市にとって、どのようなメリットがあるか伺う。
 - (3) 国対国、サウジアラムコ社と石油天然ガス・金属鉱物資源機構、沖縄石油基地との共同プロジェクトに期待されるものは何か伺う。
- 6 地上デジタル放送について
- (1) 新たな難視聴地区への対策について
 - ア 県内の状況(地区数、世帯数)はどうなっているかお聞かせください。
 - イ 新たな難視聴地区への県の取り組みについて伺う。
 - ウ うるま市における対策の進捗状況について伺いたい。
- 7 離島振興について
- (1) 平敷屋・津堅島間の航路の現況はどうなっているか。
 - (2) 補助対象航路となるために、どのような取り組みがなされているか。
 - (3) 津堅島はうるま市で唯一の指定離島であり、船舶は島民の足としてなくてはならないライフラインである。県は離島航路に対してどのような支援を行っているか。
- 8 我が党の代表質問との関連について